



### 商 工工会女性部の街歩きマップが完成

**商** 工工会女性部（鈴木栄子部長）のメンバーが11月9日（金）に、新たに作成した「まち歩きマップ」を大石田駅で電車から降りた観光客らに配り、待ち時間を利用した街歩きを呼びかけました。マップは銀山温泉への観光客をターゲットに、バスや電車の待ち時間に大石田駅から歩いて楽しめる周辺スポットを女性目線で紹介したもので、かわいらしいキャラクターがペそら漬けやそばがきなどの郷土料理や大石田の方言も紹介しています。「まち歩きマップ」は掲載店舗のほか駅待合室で配布されていて、さらに女性部では現在、外国人観光客向けに英語版のマップも作成中です。

### キッズタウンでお仕事体験

**キ** ッズタウン大石田が10月21日（日）にクロスカルチャープラザで開催されました。これはキッズタウン大石田実行委員会（高橋堅代表）が主催して毎年行われているもので、子ども達が会場に設けられた実際のお店のブースで仕事を体験し、そこで得たポイントをイベント用通貨に交換して買い物を楽しみました。会場にはパン屋や銀行、接骨院など町内のさまざまな業種の事業所のほか、大石田中学校生徒会や高校生ボランティアサークル二十四孝 PART II のブースが展示され、子どもたちは銀行ブースでお札を数えたり、菓子店のブースでどら焼きを作ったりと、楽しみながらはたらくことについて学んでいました。



### そば打ちに挑戦

**そ** ば打ち体験が大石田南小学校で11月14日（水）に行われ3・4年生児童がそば打ちに挑戦しました。児童らは横山地域農地・水・環境保全組織田沢部会（森秀雄部会長）の協力で8月にそばの種まき、10月に刈り取り作業を行っています。子どもたちは、大石田そば道楽の会（阿部榮会長）のメンバーからひとつひとつ指導を受けながら「こね、のし、きり」といった作業を行いました。子どもたちは初めての作業の連続に戸惑いながらも果敢に挑戦していました。この日は児童のおうちの方も学校に招かれ、子どもたちが打った新そばをみんなで味わいました。



### めでたく結婚50年金婚祝う

**金** 婚祝賀記念式典が10月23日（火）にJAみちのく村山大石田営農センターで行われ、昭和43年に結婚された16組のご夫婦の結婚50年を祝いました。式典では参加したご夫婦に町社会福祉協議会から記念品が贈呈されたほか、澤幸蔵山形新聞尾花沢支社長から「おしどり金婚さん」顕彰レリーフが手渡され、佐藤城昭さん・玲子さん（本町）ご夫妻が「ひたすら真面目に生きてきました。これからもそろって元気に過ごしていきたい」とお礼の言葉を述べました。その後、祝宴が行われ、参加したご夫婦は共に過ごした半世紀を振り返りお互いをたたえあっていました。



### 地域の違い活かして交流促進



**国** 道347号沿線地域の交流を活性化しようと「国道347号『鍋越峠』地域交流フォーラム」が11月9日（金）に虹のプラザで開催されました。これは平成28年に通常通行が実現した国道347号を活かして、沿線市町の交流を促進し地域活性化につなげようと村山総合支庁北村山総務課と尾花沢市大石田町広域連携推進協議会が主催したもので、山形宮城両県にまたがる347号沿線などの8市町の関係者約90人が参加して地域交流について話し合いました。フォーラムでは友好交流協定を結ぶ大石田涌谷両町の地域おこし協力隊による「わくやキッチン」が住民同士の交流を生んでいることなどの事例が紹介され、参加者は広域連携の重要性について再確認していました。

### ノルディックウォーキングで秋の大石田満喫

**大** 石田スポーツクラブの土日イベント「ノルディックウォーキング教室」が11月10日（土）に行われ、紅葉美しい秋の大石田を町内外からの参加者12人が歩いて楽しみました。ノルディックウォーキングは2本のストックを使って歩くもので、一般的なウォーキングと比べて歩幅が大きくなり、上半身も使うため全身運動になるなど、健康効果も大きいスポーツ。参加者はあつたまりランド深堀をスタートして町民の森、向川寺などをまわる約6kmを紅葉を楽しみながら歩きました。さらに歩いた後は、あつたまりランド深堀で新そばを楽しみ秋の大石田を満喫しました。

